

宮崎先生を偲んで



11/14(金)に情報科学部学部長の任にあった宮崎明雄先生が逝去されました。突然のことでまだ信じられません。11/16(日)の通夜に参列しお別れをしました。涙がでました。

宮崎先生とは、2002年に情報科学部を立ち上げた時に初めて会いました。二人で教務委員を担当しました。当時は知能情報学科と社会情報システム学科の2学科体制だったので2名だったのですね。教務課の情報科学部担当が花田さんで、その上長だった中尾次長(当時)と餃子の話になり、「それは博多の餃子を食べんといかん」みたいになり、中尾次長に宮崎先生と教務課の花田さんと吉岡さんと私が博多餃子ツアーに連れて行ってもらいました。みんなワイワイ食べ歩き、とても楽しくおいしいひと時でした。鉄鍋餃子から旭軒経由で宝雲亭というコースでした。当時の電子メールをみると、餃子ツアーの後のメールに今後の課題として、駅前ラーメン(西鉄香椎駅前)、すし屋の匠(舞松原のハローデイの近所)、第3共進丸(焼酎はセルフサービス)などと書かれています。最後の第3共進丸は宮崎先生のお勧めで、その後、一度連れて行ってもらったと記憶しています。本当に焼酎は棚みたいなところに並べてあって自分で注いで、料金は自己申告という面白い店でした。宮崎先生はかなり酒飲みだと思うのですが、飲んでも乱れたところは見ることがありません。飲んでも飲まなくてもなんだか余裕があって頼りになる存在でした。

情報科学部は新設ということもあり、特に理由がない限り、委員は継続して担当していました。結局、かなり長い間、二人で教務委員を務めたと思います。当時は牛島先生が学部長で、次々と教務委員に仕事が降ってきていました。宮崎先生はそれをテキパ

キとこなして感心したのを覚えています。私はもっぱらサポート役で楽をさせてもらいました。記憶は定かではないのですが、まず宮崎先生が学科主任になった時に、教務委員から離れ、私もその後、学科主任になった時に、同様に教務委員からはずれたのでした。しかし、その後も学科主任同士、あるいは、宮崎先生が学部長になられてからは学部長と学科主任として共に仕事をさせてもらいました。いつもニコツとしていて、ちょっとユーモアを含んだようなはなしかたをされる先生でした。深刻な顔はほとんど見ることがないような気がします。現在は、学部再編の話が進んでおり、宮崎先生は理工系学部全体のとりまとめ役の部会長をされており、私はその下で理工学部のとりまとめをしていました。たびたび、その件で研究室に立ち寄られ、愚痴も含めて相談事などをしていました。亡くなる数日前(前日かもしれません)も私の研究室で情報交換をしました。ニコツとしたいつも通りの宮崎先生でした。

情報科学部が新設されてから、これで5名の教職員が亡くなったこととなります。黒須先生、中野先生、相先生、佐藤真理さん、宮崎先生です。私は、無宗教で死後の世界とか信じられないのですが、こういう事があると、信じたくなります。ニコツしてみんなにやあやああれから色々あって大変だったよ。などとユーモア交じりに説明されているような気がします。こんなことを書いているとまた涙がでそうになります。冥福を祈ります。

九州産業大学情報科学部教授 仲 隆